

「森の京都 福知山」マスタープラン



目 次

I はじめに	1
II 背景と趣旨	1
1 背景	
2 趣旨	
III 課題と方向性	4
1 課題	
2 方向性	
IV 目標年次	5
V 基本計画	5
1 「丹後天橋立大江山国定公園エンジョイプログラム」	5
(1) 経過	
(2) 実施の方向性	
(3) 実施方法	
(ア) 自然遺産パワースポットエリア	
(イ) ニュースポーツ等の拠点エリア	
(ウ) 歴史・伝説散策コース(頼光の道)エリア	
2 「夜久野高原・宝山エンジョイプログラム」	11
(1) 経過	
(2) の方向性	
(3) 実施方法	
自然と歴史の散策エリア	
3 「関連エリア(事業)」	15
(ア) 里の祭り	
(イ) 森からの贈り物	
VI おわりに	16

「森の京都 福知山」マスタープラン策定にご協力いただいたみなさま

「森の京都 福知山」マスタープラン

I はじめに

かつて福知山の大地は海でした。地面の奥深く、あるいは仰ぎ見る山の頂にはこの地が暖かい海であった痕跡を生物の化石を介して今の私たちに語りかけています。悠久の時を経てこの地は陸地となり、やがて降り注ぐ雨は大地を削り、灼熱の炎は岩と灰を噴き出して山と川をつくりました。そして山は神々が降り立つ聖地として人々の崇敬を集めるとともに、樹木に覆われた森は様々な生命を育む場として人との共生が図られてきました。

市北部に位置する大江・三岳地域の急峻な山々、西部・東部に位置する夜久野・三和地域の穏やかな山々、市街地を取りまく優雅な山々は、そのいずれもが街から里山への景観、里山から森へと連なる田園地帯、中山間地域の風景を形づくりながら、林業資材や農産物の生産地として、私たちに生活の糧と安らぎをもたらしてきました。

これらの山々は、京都府内の福知山市・宮津市・与謝野町、西に接して兵庫県の豊岡市・朝来市・丹波市に広がり、古くは丹波国と丹後国あるいは丹波国と但馬国とを区分する国境の役割を担いながら、一方で信仰や物流が交差する場として深い関係性をもちながら、各地域に特徴ある歴史と文化、伝統を生み出し、時代を越えて現在に伝承されています。

こういった山と森の成り立ちや歴史を背景に、「森の京都 福知山」マスタープラン（以下「本計画」という。）は、平成26年に策定された『京都府「森の京都」構想』と連携し、豊かな森の恵みを受けて地域が伝承してきた文化・伝統・景観を大切にしつつ、森の再生と地域資源の価値や魅力の再構築を通じて、市民の郷土愛を育むとともに定住促進と交流人口の増加を図ることとします。

本計画は「自然遺産の森」を基本コンセプトとし、ブナの原生林を抱き野生生物の宝庫であるとともに数々の民俗伝承に彩られ、平成19年に「丹後天橋立大江山国定公園」（以下「国定公園」という。）に指定された大江山・三岳山と、京都府唯一の火山であり、玄武岩や化石など自然・地質資料のテキストブックとなる夜久野高原・宝山を戦略的拠点とします。このため基本計画として「丹後天橋立大江山国定公園エンジョイプログラム」と「夜久野高原・宝山エンジョイプログラム」を策定します。

II 背景と趣旨

1 背景

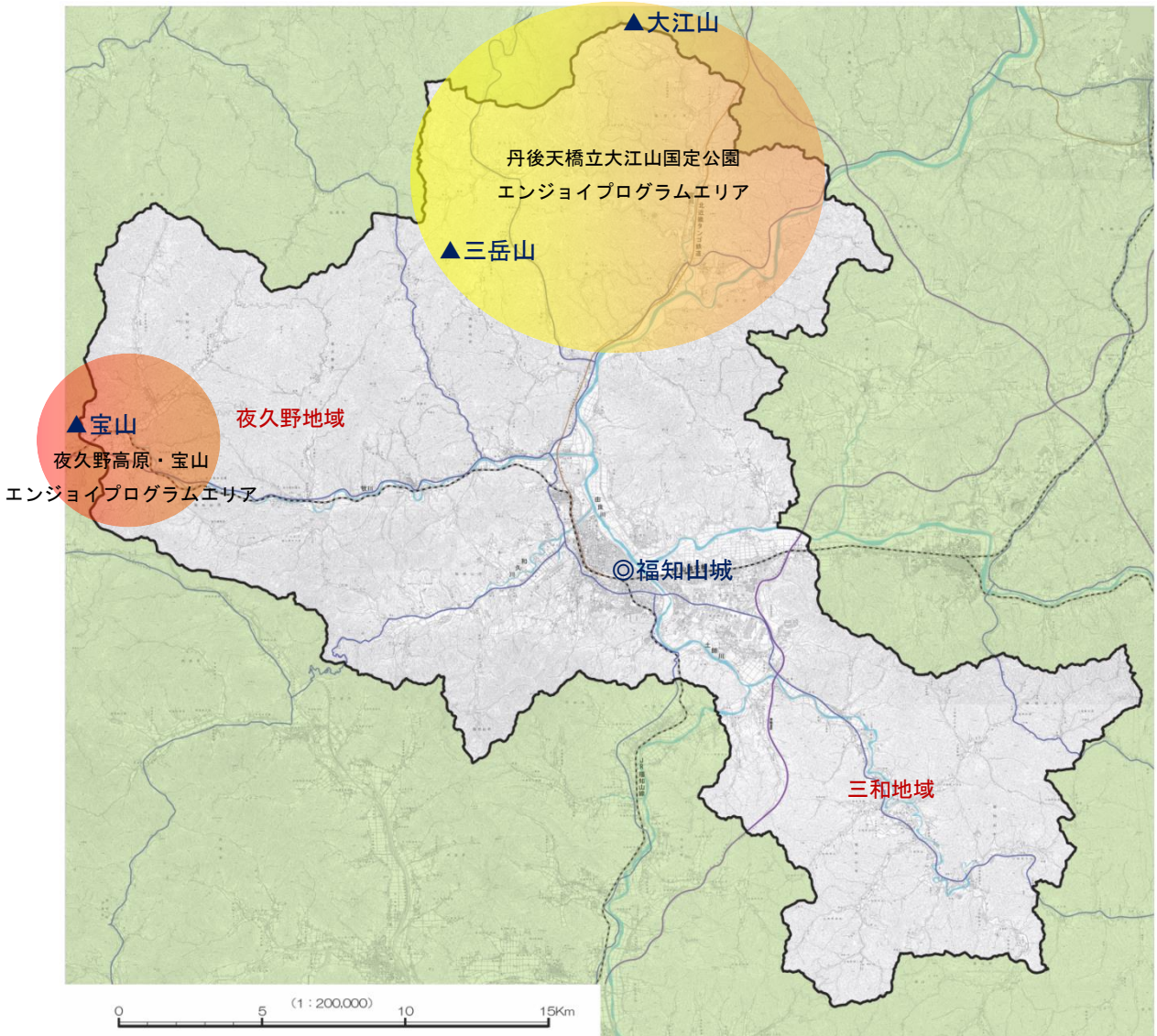
本市では森林が市域の76%を占めていますが、かつて森や木と関わる日々の営みの中でそれぞれの地域において絆が生まれ豊かな生活文化が育まれてきました。しかし、現在では森林は人口減少や木材価格の低迷等による産業構造の変化により、森林の持つ力を活用する産業・生活・文化・伝統が衰退しつつあり、改めて「森」が持つ多面的公益機能の発揮や、森とともに生きる文化の再興が望まれています。



大江山連峰（千丈ヶ嶽）



夜久野高原



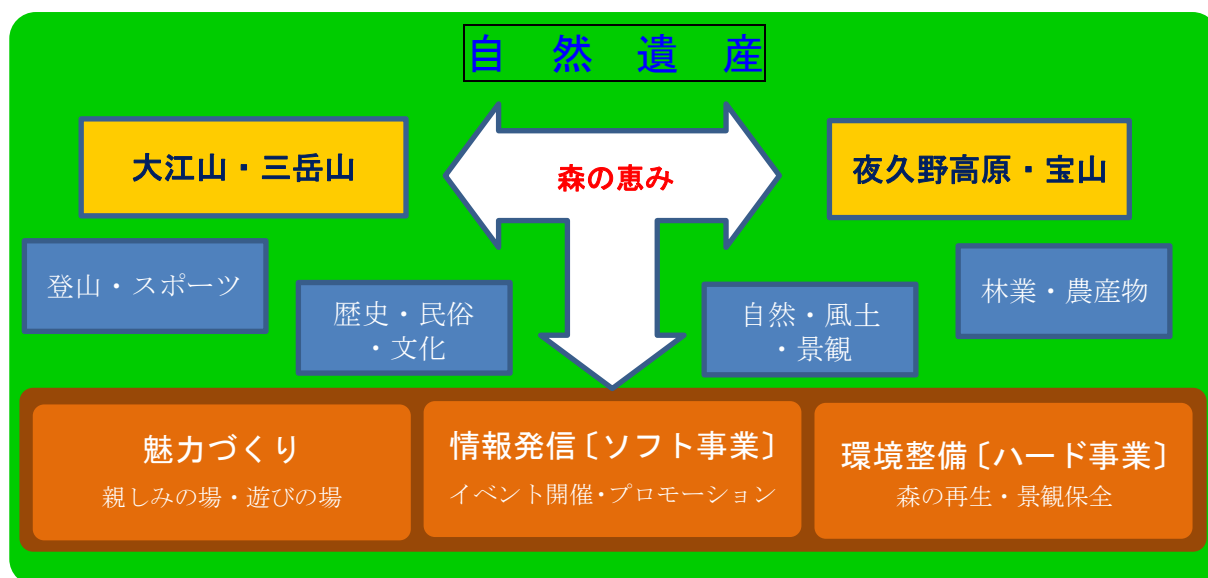
また、森林が多く存在する農山村地域では過疎化が進み、集落機能と伝統的な地域行事についても維持が難しくなっているため、森づくりや田園風景の景観保全、地域おこし活動等の促進による地域コミュニティの再生が必要となっています。

さらに、これまで森の「魅力」として定義されてきたものが、時代や社会環境の変化によって変容しかつ失われてきており、現代の視点と手法で森を再定義し、新たな価値の創造と共有が求められています。

2 趣旨

本計画は『京都府「森の京都」構想』と連携し、「森とくらし 森にあそび 森をまもる」をテーマとして、市民一人ひとりが「美しいふるさと 福知山」を未来に引き継いでいきます。

「森の京都 福知山」の方向性と取組み



テ ー マ	森とくらし 森にあそび 森をまもる
戦略拠点	大江山・三岳山、夜久野高原・宝山
重点エリア	自然遺産パワースポットエリア、ニュースポーツの拠点エリア、歴史・伝説散策（頼光の道）エリア、自然と歴史散策エリア、関連エリア（里の祭り、森からの贈り物）

豊かな自然遺産と古くから和歌に詠われ、数々の伝説に彩られた歴史舞台である大江山・三岳山、京都府唯一の火山である宝山を擁する夜久野高原。この森を守り、育て、遊びの場として多くの人々を迎える。

このため、地域の実践者をはじめ事業者・NPO・行政などの多様な主体が協働して各地域の歴史と文化、観光等、そして農林業の振興を推進し、定住促進と交流人口の増加を図ります。

また、豊かな自然環境を維持・保全する取組を強化するとともに、森の恵みを活かした食や伝統文化、産業など森に包まれた暮らし方を「森の京都 福知山」スタイルとして発信することにより、交流産業の振興、森の魅力向上による林業の付加価値向上を実現します。

Ⅲ 課題と方向性

1 課題

- (1) 過疎化・高齢化が進行するなか、集落機能や地域コミュニティが衰退し、地域の歴史・伝統文化の継承や森林の公益的機能が低下している。
- (2) 中山間地域の人口減や森林資源の価格低迷などにより、人が森から離れ、里山の保全や林業の担い手育成が困難な状況である。
- (3) 有害鳥獣により、森の植生や農産物に大きな被害がでており、野生鳥獣の防除や棲み分け対策の充実が必要である。
- (4) 森の適正管理が困難ななか、保水機能の低下による山崩れ、河川増水による水害等自然災害の発生に大きな影響を及ぼしている。
- (5) 地域に経済的な利益をもたらすための「森」「川」「里」の恵みや、体験・体感を軸とする地域資源の再生・活用する仕組みづくりが必要となっている。
- (6) 新しい視点からの森林資源の活用や農産物の生産・物流・販売また起業等による所得向上・雇用創出が必要である。
- (7) 大江山・三岳山や夜久野高原・宝山を核に、近隣市町と連携した広域的な取組が必要である。

2 方向性

- (1) 里山等の豊かな自然環境・景観に対する人々の関心を高め、福知山の山や森をはじめとする自然遺産を市民共通の財産として将来に亘って維持・保全する。
- (2) “歴史や伝統文化、景観を守りながら、地域の住民自らが、その価値を実感し、地域への誇りと郷土愛を共有する”という「森の京都 福知山」スタイルを確立し、次世代に引き継ぐ。
- (3) 山と森を適切に管理し、公益的機能を高め、野生生物との棲み分けや自然災害への対策を図ります。
- (4) 大江山・三岳山や夜久野高原・宝山を核に、交流産業の振興による経済効果の

- 波及を生む仕組みを創出する。(宿泊・飲食・ジビエ・土産・スポーツ等)
- (5) 森の価値・魅力・可能性を高めることで丹州材等の林業の付加価値を向上するとともに、林業を地域経済や景観保全を支える基盤として成り立たせていく。
 - (6) 福知山に「移住」「二地域居住」「定住」したい人達の雇用と収入・定住の場を確保し、持続可能な生活圏を形成する。
 - (7) 多様な実践者・団体・事業者・ボランティア・京都府・福知山市が協働し、相互の交流・結合・補完を通じて地域資源の再発見と新たな価値の創造を図る。

IV 目標年次

「第40回全国育樹祭」が京都府で開催される平成28年秋をターゲットイヤーに位置づけ、その前後を含む平成27年度～29年度を目標期間とします。なお、東京オリンピック・パラリンピックが開催される平成32年度を年頭に置いた展開にも留意します。

V 基本計画

本計画の戦略的拠点地域として「自然遺産の宝庫」である大江山・三岳山と夜久野高原・宝山の事業推進を図るため、個別の基本計画を次のとおり定めます。

1 「丹後天橋立大江山国定公園エンジョイプログラム」

(1) 経過

市内北部に位置する大江山・三岳山は、京都府北部の豊かな自然環境、美しい景観を保全・活用するため、平成19年8月環境省によって「丹後天橋立大江山国定公園」に指定されました。従来このエリアを行政区域に含む周辺自治体が一体となって、自然にふれあい、山と親しむ大江山一斉登山などを行ってきましたが、国定公園指定以降、各種民間団体と連携を図りながら平成21年度の「自然公園ふれあい全国大会」の開催、国定公園クリーンデー、自然観察会などの実施によるPR、自然環境整備交付金を活用した施設整備などを進めたことにより、身近な国定公園として来訪者が増加しています。

これら森づくりの取り組みをさらに進めるため、平成20年度には「福知山千年の森づくり基本計画」を策定し、平成21年度にはこの計画に基づき、森づくりの組織として、地域で活動している民間団体等が参画した「福知山千年の森づくり懇話会」(平成26年度までは協議会)を設置し、その懇話会のメンバー等を中心に植樹活動や山登り活動などを通じた森づくり推進しています。

(2) 実施の方向性

- ①元伊勢三社や雲海で知られる鬼嶽稻荷神社等のパワースポットの周辺整備とPRの強化を図る。
- ②分かりやすく統一感のある道路標識や誘導看板の設置等によりアクセス機能の向上を図る。
- ③公共交通機関との連携による多彩なツアー・イベント企画の立案と広報活動の充実を図る。
- ④ニュースポーツ（ノルディック・ウオーク等）のメッカとなるよう、新たなコースを設定し競技環境の整備を図る。
- ⑤「大江山グリーンロッジ」等の交流と情報発信の拠点施設の機能向上を図る。
- ⑥民間団体等が実施する伝統文化・鬼伝説・社会貢献に関連する取組を支援する。

(3) 実施方法

計画の実施にあたって大きく三つの重点エリアを設定し、各種事業を進めることとします。

(ア) 自然遺産 パワースポットエリア

人々が自然遺産から癒し、また大地、大気からパワーを授かり、日々の生活からリフレッシュを図るエリアとして一層の魅力アップを図る。



<対象>

大江山・三岳山からの雲海、丹波山地・日本海の眺望、ブナ原生林、巨樹・巨木、二瀬川渓谷の急流、内宮、天岩戸神社周辺の幽玄なる景観、毛原の棚田、大岩神社のアカガシ群、三岳山の修験の道など。

<民間活動等>

大江山一斉登山（大江山観光開発協議会）、大江山自然観察会（大江地域公民館）、JR ディスカバーウエスト（JR）、千年の森ウォーキング（福知山酒吞童子祭り実行委員会）、JR ふれあいハイキング（福知山観光協会）、ヒュウガミズキ育苗（ヒュウガミズキ育苗隊）、モデルフォレスト（企業）、ツアー企画（京都丹後鉄道）、移住定住促進事業（地域協議会等）、間伐材利用開発（福知山森林組合等）、花プロジェクト（大江観光等）、元伊勢参道マルシェ（大江元気プロジェクト）、大江山鬼っ子マラソン（大江山鬼っ子マラソン大会実行委員会）、大江山ジオトレッキング（福知山市自然科学協力委員会）、鬼シンポジウム（世界鬼学会）、全国鬼師研修大会（日本鬼師の会）など。

<具体的な取り組み>

(1) 新しい魅力を創造する。

- ①河守鉦山跡地の緑化（ヒュウガミズキの植樹）
- ②古道の復活
- ③元伊勢内宮参道の活性化
- ④空家等の活用
- ⑤大江山の自然遺産観察会等の開催

(2) 散策コースの補修及び整備を図る。

- ①近畿自然歩道（二瀬川付近）の補修と整備
- ②府道：綾部大江宮津線の関、内宮、佛性寺間の道路整備
- ③市道：二瀬川大江山線の改良
- ④市道：二瀬川溪流線の整備
- ⑤集落間（天座～北原）を結ぶ林道整備
- ⑥千丈ヶ滝探勝路の整備

(3) 交流拠点等の施設を整備する。

- ①大江山グリーンロッジ及び周辺施設整備
- ②大江山自然環境活用センターの改修
- ③日本の鬼の交流博物館の充実
- ④情報発信基盤整備

(4) わかりやすい案内標識・看板を設置する。

- ①国道175号、176号、426号沿線及び交差点等に国定公園（大江山・三岳山）への誘導看板の設置
- ②京都縦貫道路大江IC出口から国定公園（大江山・三岳山）誘導看板の設置

(5) 多くの来訪者を誘致するため、鉄道（京都丹後鉄道）などの交通手段を組み合わせたアクセス機能の強化やツアー企画の立案を図る。

(6) 民間団体等が実施する伝承文化・鬼伝説・社会貢献等に関するイベントや活動を支援する。

(イ) ニュースポーツ等の拠点エリア

大江山・三岳山をハイキング、ウォーキングとともに、「ノルディック・ウォーク」「ロングライド」や「SEA TO SUMMIT」など近年人気が高まりつつあるニュースポーツの拠点として競技コースを整備し、情報発信・PRを図る。



<対象>

大江山・三岳山からの雲海、丹波山地・日本海の眺望、ブナ原生林、巨樹・巨木、二瀬川渓谷の急流、内宮、天岩戸神社周辺の幽玄なる景観、毛原の棚田、大岩神社のアカガシ群、三岳山の修験の道など。

<民間活動等>

大江山一斉登山（大江山観光開発協議会）、JR ディスカバーウエスト（JR）、千年の森ウォーキング（福知山酒呑童子祭り実行委員会）、JR ふれあいハイキング（福知山観光協会）、ノルディック・ウォーク推進（事業者）、由良川・大江山 SEA TO SUMMIT（企業）、大江山鬼っ子マラソン（同大会実行委員会）、TANTAN ロングライド開催支援（企業）など。

<具体的な取り組み>

(1) ニュースポーツ等のコース及び拠点エリアを整備する。

①大江山グリーンロッジを拠点とする大江山常設コースの設定と整備。

（「大江山連峰縦走コース」、「グリーンロッジ周辺コース」等）

②元伊勢三社を拠点とする山麓常設コースの設定と整備。

（「パワースポット体感コース」、「二瀬川溪流散策コース」等）

③自転車及び登山によるコースの周知と活用・提案。

（「由良川・大江山 SEA TO SUMMIT」、「TANTAN ロングライド」）

④大江山登山及びノルディック・ウォークのコース整備と活用・発信。

⑤大江山山頂展望台及び誘導・ルート看板の整備

(2) 散策コースの補修及び整備を図る。

①近畿自然歩道（二瀬川付近）の補修と整備

②府道：綾部大江宮津線の関、内宮、佛性寺間の道路整備

③市道：二瀬川大江山線の改良

④市道：二瀬川溪流線の整備

⑤集落間（天座～北原）を結ぶ林道整備

(3) 交流拠点等の施設を整備する。

①大江山グリーンロッジ及び周辺施設整備

②大江山グリーンロッジ付近に観光トイレの整備

③大江山自然環境活用センターの改修

(4) 民間団体等が実施する登山・ハイキング等のスポーツイベント等を支援する。

(ウ) 歴史・伝説散策(頼光の道)エリア

大江山・三岳山に古くから言い伝えられている源頼光の酒吞童子伝説をはじめとする三つの鬼伝説、各地の山里に残る彫刻や文書、民俗伝承などをめぐる散策コースを設定し、地域の魅力を発信する。



<対象>

佐々木方面から三岳山、御勝八幡神社、野条、雲原、天座の鬼退治のルート、25年毎に開催(平成27年開催)される御勝八幡宮大祭(紫宸殿田楽・天座田楽)、雲原川、雲原砂防、赤石岳など。

<民間活動等>

雲原砂防イベント(同実行委員会)、子ども新聞・地域メディア(山々アートセンター)、空き屋等活用プロジェクト(雲の原っぱ社等)など。

<具体的な取り組み>

(1) 登山及び散策コースを整備する。

- ① 頼光の道(大江山・赤石岳登山ルート)への案内看板・誘導標識の整備
- ② 休閉校跡地の活用研究(ビジターセンター等)

(2) 交流拠点等の施設を整備する。

- ① 北陵総合センターの整備
- ② 里の駅みたけの整備
- ③ 上佐々木(野際)トイレ整備
- ④ 三岳山登山口トイレ整備

(3) 民間団体等が実施するイベントや地域活動を支援する。

2 「夜久野高原・宝山エンジョイプログラム」

(1) 経過

市域最西部に位置し、西・南・北の三方を兵庫県と接する夜久野高原・宝山エリアは、山陰・但馬方面から見れば丹波の玄関口にあたる地域となります。また兵庫県境には38～30万年前に噴火した京都府唯一の宝山(田倉山)火山を中心に噴出した溶岩流によって夜久野高原が形づくられています。この溶岩流の一部は「やくの玄武岩公園」として平成17年に京都府指定文化財(天然記念物)に指定、また平成25年には京都府景観資産に登録され、郷土の成り立ちを知ることのできる貴重な学習資源となっています。

現在、宝山には桜や紅葉などが植栽され、標高約350mの山頂からは夜久野高原の眺望とともに、秋季には雲海を見ることができます。また山麓の京都府緑化センターには、ヤエベニシダレザクラの桜並木が毎年4月中旬に満開を迎え、春の風物詩となるとともに夜久野高原八十八カ所石仏巡りの遊歩道と恰好のハイキングコースとして親しまれています。

千年の歴史を誇る夜久野の「丹波漆」は、漆かき技術の伝統性が平成3年に京都府無形民俗文化財の指定を受け、平成21年には漆植栽地が文化庁の「ふるさと文化財の森」として設定されました。漆の木の植栽、漆かきから漆芸品の制作までの全過程を担う夜久野の「丹波漆」の伝承文化は貴重なものであり、平成12年に建設した「やくの木と漆の館」において伝承とPR活動を行っています。

夜久野地域の住民においては、「夜久野みらいまちづくりビジョン」に、「夜久野高原一帯を四季花の楽園に」「地域資源の発掘による夜久野めぐりやイベントの実施」を施策方針として掲げ、福知山観光協会夜久野支部では、「宝山を中心とした散策路の充実」に力を注ぎ、また、地元活動団体が京都府緑化センターと連携したイベントを実施しています。

(2) 実施の方向性

- ①自然遺産の宝庫である夜久野高原、宝山、玄武岩公園を楽しめる散策路の整備を進める。
- ②ノルディック・ウォーク等のニュースポーツの開催やハイキングコースとしての活用を図る。
- ③エリア内を横断する国道9号からの導線を意識し、誘導看板の整備等を進める。
- ④京都府緑化センターのシダレザクラと連動した花回廊の整備を進める。
- ⑤「農匠の郷やくの」等の交流と情報発信の拠点施設の機能向上を図る。
- ⑥伝統的工芸品、伝統技術である丹波漆の継承と漆を活用する。
- ⑦民間団体等が実施するイベントや地域活動、社会貢献に関連する取組を支援する。

(3) 実施方法

自然と歴史の散策エリア（京都府唯一の宝山火山）

太古のロマンと緑の風を感じながら、「宝山」から「玄武岩公園」までのルートを周遊できるよう、観光スポットの整備を行い、「夜久野の森」の魅力アップを図る。



<対象>

夜久野高原・宝山、雲海、夜久野高原八十八カ所石仏群、宝山の紅葉、京都府緑化センターシダレザクラ並木道、文化庁の「ふるさと文化財の森」漆植栽地、京都府指定文化財（天然記念物）・京都府景観資産登録の玄武岩柱状節理（玄武岩公園）、観光スポットをつなぐ花回廊など。

<民間活動等>

八十八カ所石仏散策（福知山観光協会夜久野支部）、JRふれあいハイキング（福知山観光協会）、京都府緑化センター「桜花祭」（ときめき会）、やくの高原まつり（同実行委員会）、夜久野農林商工祭（同実行委員会）、夜久野高原手づくり市（作るを楽しむ会）、夜久野高原市（同運営委員会）、丹波漆（NPO丹波漆）、夜久野高原ジオトレッキング（福知山自然科学協力員会）など。

<具体的な取り組み>

（1）散策コース（八十八カ所石仏巡り等）の補修及び整備を図る。

①宝山公園の修景整備

（紅葉の植樹、紅葉のライトアップ、桜の植樹、公園・展望台のベンチ改修等）

②宝山公園、八十八カ所石仏巡り散策路の階段と散策表示看板等の補修

③夜久野高原・宝山の解説・説明板の設置

④農匠の郷やくの案内看板

⑤玄武岩公園の修景整備及び用地測量

（2）施設をつなぐ花回廊を整備する。

①府道：上夜久野停車場線の拡幅

②府道：上夜久野停車場線への植栽

③市道：中央線への植栽

④市道：旧国道小倉・岡野線の改良

⑤京都府緑化センターとの連携

（3）交流拠点等の施設を整備する。

①農匠の郷やくの施設改修及び場内整備

②夜久野高原市の設備整備及び農産物加工場の整備

(4) スポーツ等のコースを整備する。

① (仮称) ノルディックウォーク in 宝山の開催

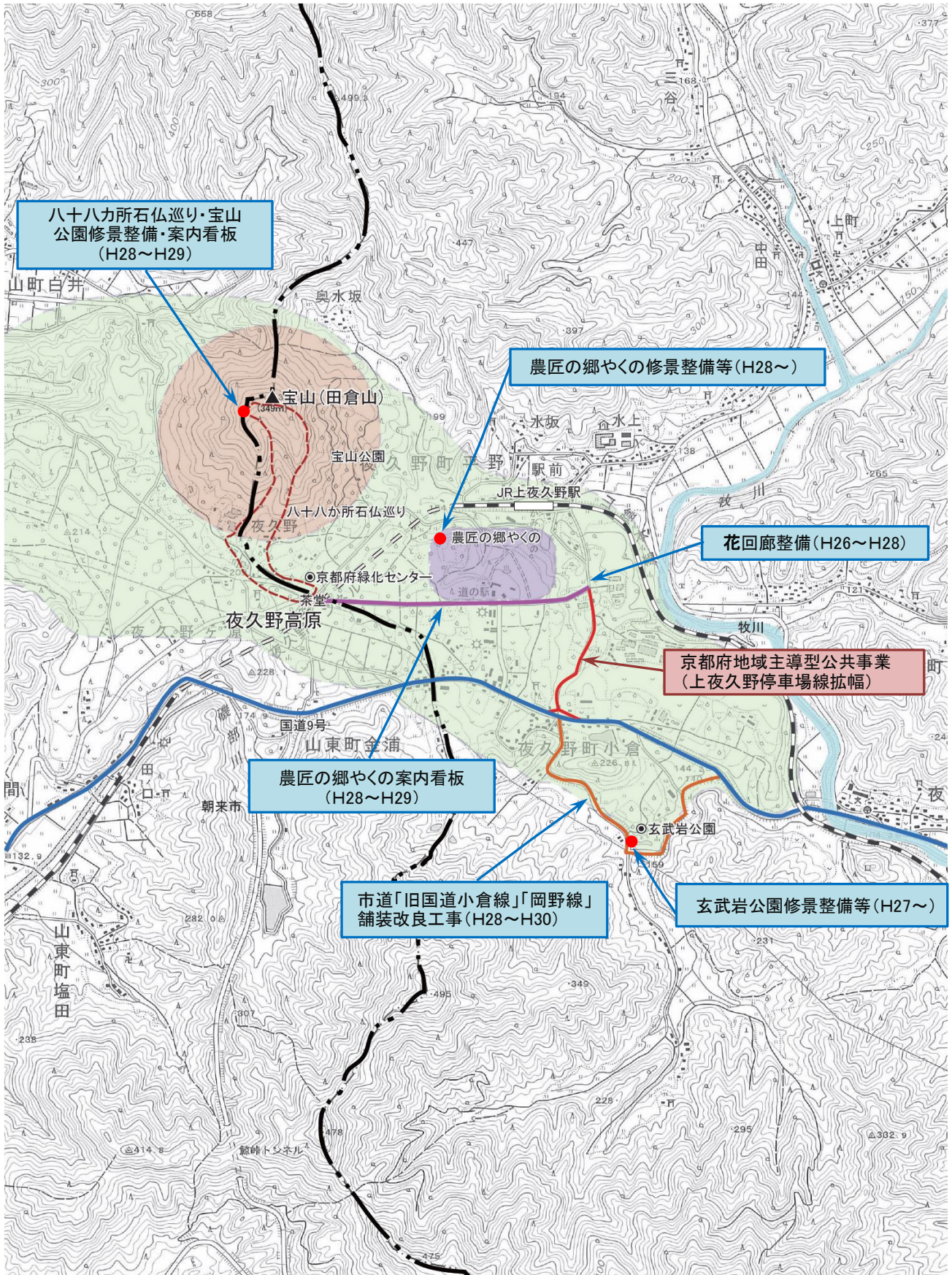
(しだれ桜 ~ 宝山噴火口 ~ 八十八カ所石仏 ~ 大町藤公園 ちょっと見コース)

②+ (プラス) 1000歩の会 いきいき健康ウォーキング (宝山コース) の設定

③ハイキングコース整備及び案内看板の設置

(5) 民間団体等が実施するイベントや地域活動を支援する。

「森の京都 福知山」マスタープラン
 夜久野高原・宝山エンジョイプログラム 事業概要図



3 「関連エリア(事業)」

(ア) 里の祭り

大江山・三岳山麓の里にある伝統芸能、文化財、歴史的景観をめぐるエリア
御勝八幡宮大祭(紫宸殿田楽・天座田楽)、夜久野地域の額田のダシまつり、三和地域では大原の奴行列等の伝統行事



<対象>

毛原の棚田、オノ神のフジ、三岳山麓の仏像、御勝八幡宮大祭(紫宸殿田楽・天座田楽)、額田のダシまつり、大原神社、大原の産屋など。

<民間活動>

各地の伝統芸能(神社、地域)、各地の仏像(寺院、神社、地域)など。

<具体的な取り組み>

- ①地域マップの作成
- ②市ホームページ、観光協会などでPR
- ③民間団体等が実施する各事業・活動を支援する。

(イ) 森からの贈り物

森・川で生産される原材料を基に生み出される和紙、漆、藍染等の伝統技術、伝統工芸品を活用した製品開発。



<対象>

大江山・三岳山、夜久野高原・宝山、由良川の歴史、風土の中で生まれ生み出された伝統丹波漆、丹後和紙、由良川藍、養蚕等の伝統技術、工芸品など。

<民間活動等>

丹波漆(NPO 丹波漆)、丹後和紙(丹後二俣紙保存会)、由良川藍(由良川藍同好会)など。

<具体的な取り組み>

- ①各伝統技術、伝統工芸の情報発信
- ②産・官・学連携による商品開発、プロデュース
- ③原材料確保対策
- ④後継者の育成及び確保
- ⑤民間団体等が実施する各事業・活動を支援する。

VI おわりに

いうまでもなく各地域に所在する山々は、それぞれが地域の暮らしと密着して、その暮らしを反映する形で守られ、校歌に歌われ、遠くふるさとを離れた者に郷愁と勇気を与えてきました。

また、これら自然を織り成す山々は、一つの山のみで物語や機能が完結するものではなく、長い歴史のなかで山と集落、集落と市街地、人と人とを関係づけ結びつけながら、連峰を形づくる一団の風景として記憶され、文化や伝統また信仰や生活様式を醸成してきました。

このような観点から、本計画に掲げる戦略拠点は大江山・三岳山と夜久野高原・宝山としますが、各地域に所在する山々や森がお互いの成り立ちや自然形成のなかで深い関係性をもつことから、本計画に掲載のない山や森そして地域においても、必要な時期に必要な事業をもって、本計画の意義を体現するための施策を展開していくこととします。

そして、先人が守り育ててきた自然や悠久の歴史・文化を活かした新しい森づくりを市民協働で進め、「美しいふるさと福知山」を未来の子どもたちに引き継いでいきます。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり御支援・御協力いただきました地域の皆様、そして関係機関の皆様に対しまして、心から厚くお礼申し上げます。

平成 27 年 12 月 1 日

福知山市

「森の京都 福知山」マスタープラン策定にご協力いただいたみなさま

大江・三岳・雲原地域

所 属	職 名	氏 名
雲の原っぱ社・わがやカフェ	代表・店長	吉田美奈子
雲の原っぱ社	副代表	荒砂綾乃
山山アートセンター	代表・美術家	イシワタマリ
Puut Cocous・大江元気プロジェクト ICOE	代表・会員	伊田さなえ
常光寺・大江元気プロジェクト ICOE	住職・代表	河口珠輝
アジア雑貨&Café Casa Oriente	代表	藤池秀樹
大江山 鬼そば屋	店長	荒砂尚樹
京都府立大学大学院 生命環境科学研究科	学術研究員	佐々井飛矢文
株式会社 むらいち	代表取締役	村上裕子
福知山地方森林組合	代表理事専務	中村典之
大江観光株式会社	社長	佐古明勇
大江観光株式会社	職員	濱伸洋
大江地域観光案内倶楽部	会長	赤松武司
大江地域観光案内倶楽部	監査役	太田哲雄
日本の鬼の交流博物館	職員	佐藤秀樹

夜久野地域

所 属	職 名	氏 名
NPO法人丹波漆	理事長	岡本嘉明
NPO法人丹波漆	理事	竹内耕祐
やくの木と漆の館	館長	高橋治子
ときめき会	会計	衣川浩行
ときめき会	会員	夜久早百合
福知山観光協会 夜久野支部	副支部長	石原正直
奥水坂自治会	自治会長	藤原進

※敬称略・順不同